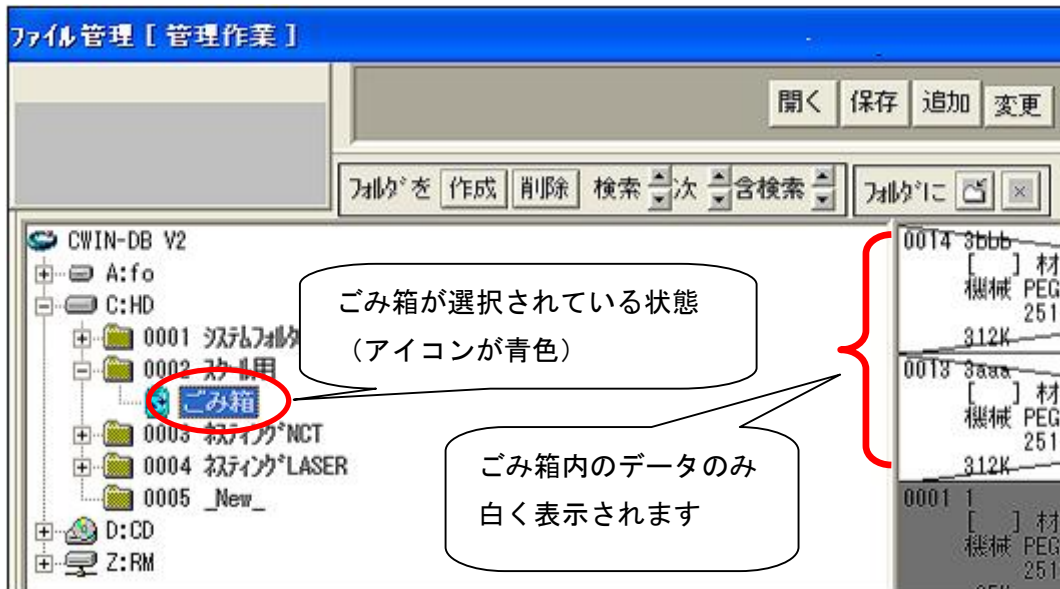


ごみ箱の操作と保持数の変更方法について

更新日

2008/7/8

各フォルダにて削除したデータは、システムフォルダごとに設けられたごみ箱に一旦保持されます。  
データの復旧、完全削除などは、[ファイル]→[管理作業]を開き、ごみ箱を選択して行います。

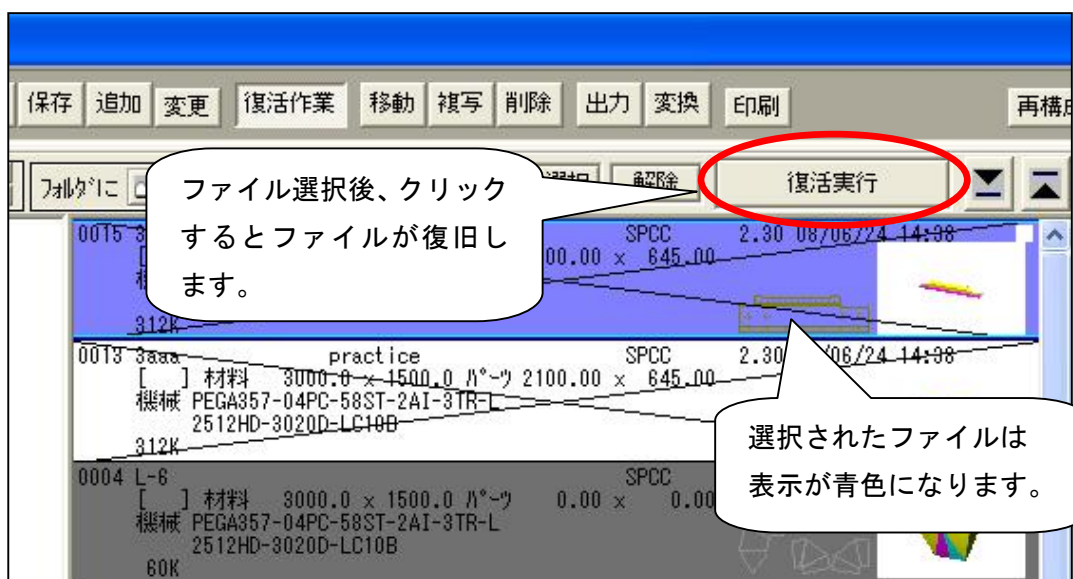


■ごみ箱からのデータ復旧方法

ごみ箱に入っているデータは、以下の方法で復旧可能です。

復旧したいデータを選択すると、選択されたデータが青く表示されます。

その状態で**復活実行**ボタンを押すことで、データが削除前のフォルダに復旧されます。



## ■ごみ箱内データの消し方（データ完全削除）

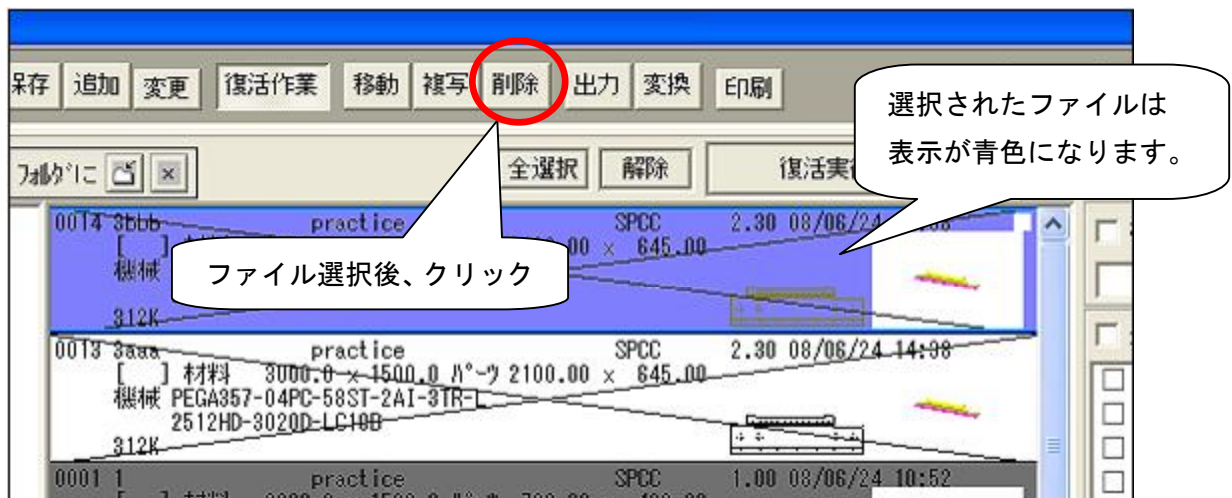
ごみ箱内データの完全削除は、下記の方法にて行います。

### 注意

ごみ箱から完全削除したデータは復旧出来ません。削除はくれぐれも慎重に行ってください。

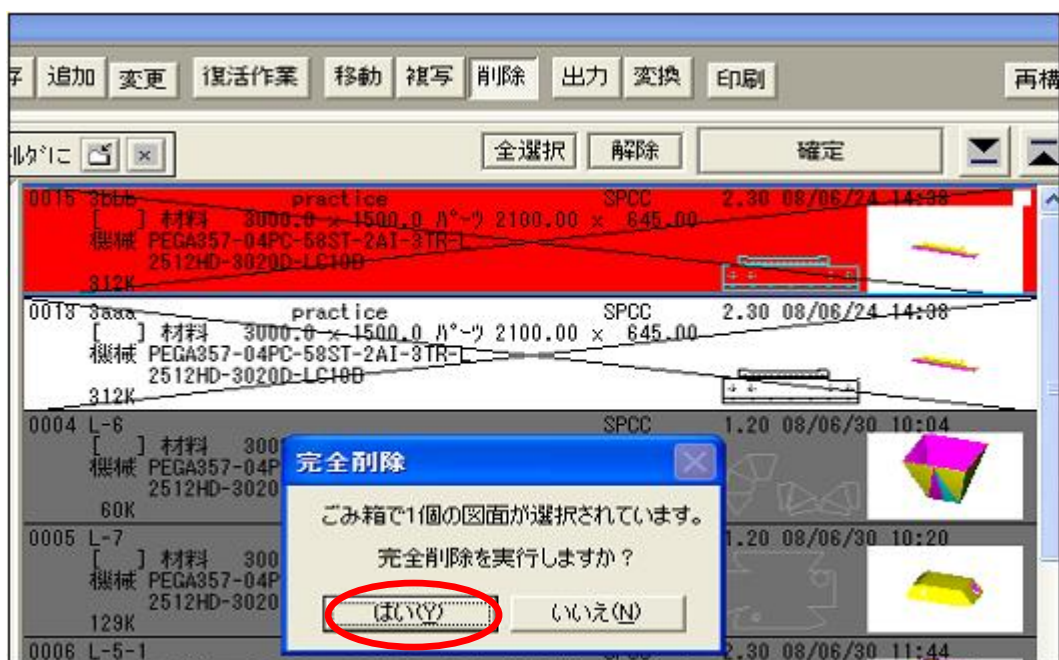
①完全削除したいデータを選択し、画面上部の削除ボタンを押します。

（中のファイルをすべて消したい場合は、全選択でも選択できます。）



②削除対象のファイルが赤く反転し、下記のダイアログが表示されます。

はい (Y) を選択すると、ファイルが完全削除されます。



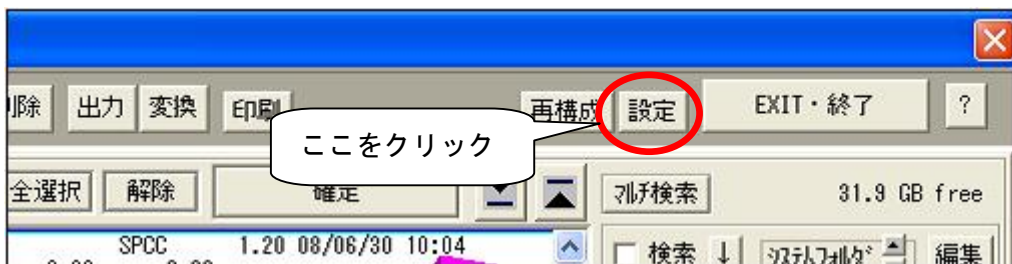
## ■ごみ箱の保持数変更の仕方

下記の方法で、ごみ箱フォルダに保持するデータの最大数を任意に設定することが可能です。  
最大値を越えると、以降は削除してもごみ箱フォルダに移動しません。



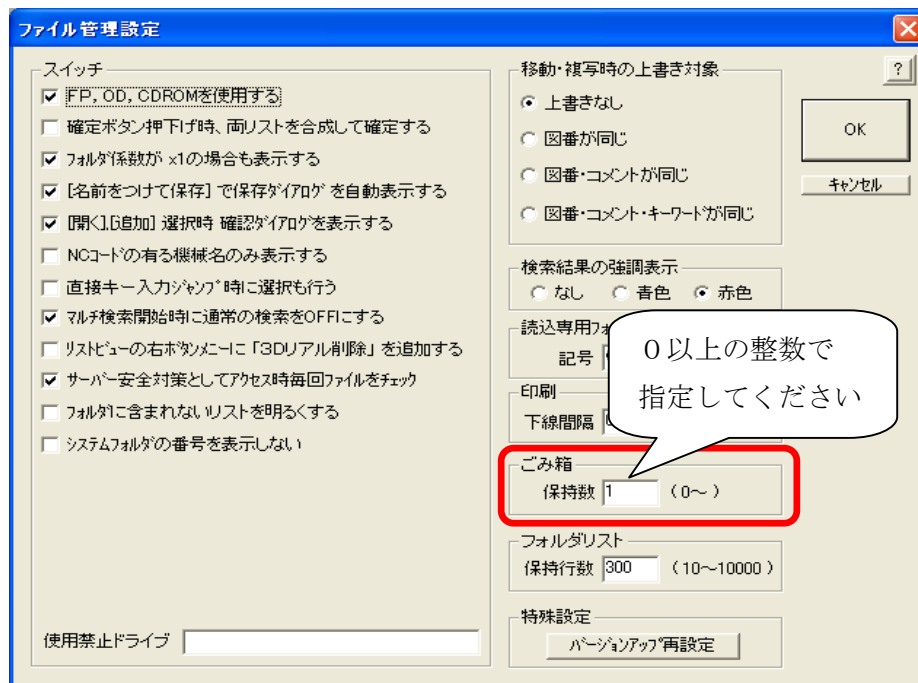
保持数を0に設定すると、削除時にごみ箱フォルダを使用せず、常に完全削除になります。  
完全削除したデータは復旧できませんので、ご注意ください。

①右上にある **設定** ボタンをクリックします。



②クリックすると、ファイル管理設定のダイアログが表示されます。

右下部の**ごみ箱保持数**の数値を任意に変更することで、最大保持数の変更が可能です。



- 本書に含まれている内容は、いかなる保証もない現状バージョンで提供されるものです。
- 本書の内容に対するソフトの使用、使用結果に対しては正確性、真実性等のいかなる表明、保証も致しません。またバージョンアップで予告無しに仕様の変更をすることがあります。
- 本書の内容を無断で転用することを禁じます。